

202510.30 (木)
第 17 回例会
(通算3826回)

2025-2026 年度 釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン「笑顔と誇りを胸に、挑戦するロータリー」

会 長 荒井 剛
副 会 長 池田 一己
幹 事 横田 英喜
編集責任者 クラブ会報・雑誌・公共イメージ委員会

例会日 毎週木曜日 12:30 ～ 13:30 夜間例会 18:00
例会場 釧路センチュリーキャッスルホテル
事務局 釧路市錦町 5-3 三ッ輪ビル 2F
☎ 0154-24-0860 📠 0154-24-0411

2025-2026 年度
国際ロータリーテーマ

『よいことのために 手を取りあおう』
UNITE FOR GOOD

2025-2026 年度
RI 会長 フランチェスコ・アレツツォ
第 2500 地区ガバナー
佐渡 正幸 (釧路北 RC)

本日のプログラム 地区大会に参加して (理事会)

次週例会 ロータリー財団月間にちなんで (ロータリー財団寄付推進委員会)

■ロータリーソング：奉仕の理想 ■ソングリーダー：鬼頭 知彰君

■会員数 107 名

■ビジター 第 2500 地区地区大会実行会 小野寺英夫実行委員長

■ゲスト

会長の時間 荒井 剛会長



皆さん、こんにちは。先日行われました地区大会にご参加いただきまして誠にありがとうございました。本当に心強い釧路

ナイトを行って、クラブ紹介の時には私は地区の関係で前に座っていたので、皆さんと近くで一緒にはいられなかったこともありまして、クラブ紹介の時にタイミングを合わせて立ち上げられるかなと思っていた時に、後ろから元気な声で「ヤー！」と言っていたので私もうれしく思いました。

呼ばれなかったクラブもあったようですが、ウチは幸い呼ばれたのでみんなで声を出して参加できました。改めて、ありがとうございます。

この地区大会の関係で、この冊子をご覧になると「アレ？」と気づかれた方がたくさんいると思います。表彰者の中に吉田パストガバナーの奥様・敦子様が表彰されていることが記載されています。「奉仕に関する優秀賞」といって、RI 特別賞なのですが、表彰される大会の日には発表がなかったので、どこで発表されたのか、どのようなものなのかを聞かれた方がおりましたので、その点についてご説明したいと思います。初日に、RI 会長の特別表彰ということで発表されました。どのような内容の事業・奉仕として受賞されたのかというと、敦子さんが 2012 年以来、『くしろ子

ども未来塾』をずーっと行っています。

毎月第一日曜日の午前中に行われています。一人が 300 円を払うことで、いろいろな分野の専門家。その分野を上げますと、算数力チェック、漢字力チェック、日本舞踊、ジュニア・スポーツダンス、絵画、書道、華道、茶道、楽器、フラワー・アレンジメント、手話、エコチャンバラ、琴、跳び箱、鉄棒、囲碁、少林寺拳法、プログラミング、沖縄三線、フラメンコ、合唱、英語、などなど。いろいろな分野がありますけど、一人 300 円を払うとその時間は何度でも受けられるものです。これを 2012 年から続けておられます。延べでは 1 万人くらいの子どもが参加しています。今でこそ、そのような分野のスペシャリストを呼んで、子どもたちが受ける事業はあるのですが、2012 年から継続して行われていることから RI 特別表彰を受賞されています。富良野の松田パストガバナーが推薦したと聞いております。改めて、おめでとうございます。次は大事なお知らせです。今年の年次総会は 12 月 4 日に行われる予定です。年次総会では次年度の役員と理事の選挙が行われる予定です。釧路ロータリークラブ細則第 3 条 1 節には、選挙の 1 カ月前の例会においてその議長たる会員は次々年度会長、次年度副会長、幹事、会計、空席となっている理事の候補を立てることを求めなければならない。候補者は指名委員会または会員のいずれか一方、または双方により立てることができる。となっておりますので、皆さまの中から立候補を募りたいと思います。

立候補をお考えの方は来週、11 月 6 日の例会までお

申し出ください。どうぞよろしくお願いいたします。
本日は地区大会に参加しての例会になっておりますので会長挨拶はこの辺で終わらせていただきます。ありがとうございます。

幹事報告 横田 英喜幹事

先週末の地区大会、お疲れさまでした。地区大会の本会議、午後からの表彰でしたが釧路クラブが国際ロータリー第 2500 地区の 2024-2025 年度の小谷ガバナーから『会員増強拡大賞』というところで『会員維持 100 パーセント』の表彰を受けておりますのでご報告をさせていただきます。

今日、入り口にありましたとおり、赤い羽根共同募金の時期となっております。皆さんの中には寄付をされた方もいると思いますがよろしくお願いいたします。

三点目は、パーソナルボックスに『ロータリーの友』が今日配布されましたので、皆さん、お持ち帰りいただきたいと思います。

また、ガバナー公式訪問の写真も入れておりますので、参加された方はお持ち帰りください。

4 点目です。釧路交響楽団から定期演奏会のご案内、招待券 4 枚が来ております。11 月 16 日 14 時からです。興味のある方は幹事に言っていただければ招待券をお渡ししますのでよろしくお願いいたします。

2025-2026 年度国際ロータリー 2500 地区 地区大会について

地区大会実行委員会 小野寺英夫実行委員長

先日、開催されました地区大会の実行委員長を務めさせていただきました小野寺英夫と申します。

お礼に伺いたいとお申しましたところ、この例会の貴重な時間をいただきましたこと、誠にありがとうございます。荒井会長、横田幹事、ありがとうございます。

釧路クラブの皆さまには地区大会において全員登録をしていただきました。本当にありがとうございました。皆さまのお力添えがありまして 24 日から 26 日までの 3 日間にわたって、少し肌寒いところもありましたが天候に恵まれまして無事に終えることができました。

2019 年、6 年前になりますが私が主催する I M がありましたが、その 1 週間くらい前に脳梗塞を発症してしまいました。その時に、私の代わりに全部を取り仕切ってくれたのが佐渡ガバナーでした。そういうことがありましたことから、私も恩返しのつもりで今回

の実行委員長を引き受けたわけであります。

今回の地区大会は、佐渡ガバナーの思いがありまして、いつもと少し違う設えとなっております。実行委員会も一丸となって頑張ってきたけれども、参加していただいた皆さまには設営などで多少の不備があったこと、ご迷惑をおかけしたこともあったことをお詫び申し上げて、地区大会が無事に終了できましたことに感謝して、お礼の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

■本日のプログラム■ 地区大会の参加して

吉田 潤司パストガバナー



皆さん、こんにちは。先ほどは会長からご丁寧にウチの妻が表彰いただきましたお話を、ありがとうございました。立派な楯でびっくりし

ました。バッチもなかなか立派なバッチでした。妻が 15 年近くやっていて、私もけっこう手伝っているのです。そういうのをいただきまして、本当にありがとうございました。

地区大会に私も参加してまいりました。率直な感想は、久しぶりに素晴らしい大会だったなという印象があります。点数では 98 点くらいあげたかったのですが、個人的には懇親会があまりにも雑だと思えませんでしたか。どうですか、あんなものですか。そういうことがあって、せっかく楽しみにしていた懇親会が残念だったなと思います。

皆さまご存じのとおり、地区大会は地区内・地区外のロータリアンが一堂に集まって、ロータリーのことを聞き、学び、多くの友達を作り、友情を育み、そして最後に「勉強をしてお疲れさま」ということで、懇親会ではじめて、次に「また皆さまと再会しよう」という流れのものだったのです。

ずうっと長いこと地区大会に来ていますが、基調講演などがありまして、あまりロータリーと関係のない人が出てきます。これがいいか悪いかは別問題として、今回はモンゴルとの調印式とかの話もありまして、私がびっくりしたのは会場にかなりの人が最後まで残っていたことです。これにはびっくりしました。今までは、途中で退席する人がすごく多かったのですが、今年はかなりの人が残っていましたね。

単純に考えますと、皆さんはロータリーの話聞くことに対してはアレルギーではなくて興味を持っているのではないかという気がしました。いろいろな意味で参考になりました。中身も基本的なことを順番にやっていきまして、素晴らしかったのです。

ポリオデーの企画とかR I 会長代理の山崎さんが話されまして、基調講演的なこともやりました。現況報告などいろいろなことをやりました。なかなか語り口も丁寧で、とても聞きやすくこれが大変勉強になりました。

北クラブの衛星クラブが新たにできた発表もありました。やはり北クラブの勢いというものを感じました。

将来的にウチのクラブが地区大会をやることになるかもしれないです。これは、クラブ内では荒井さんがガバナーに推薦されていますけれども、対外的には11月30日までは他のクラブからエントリーされる可能性もあるのです。ですから、あくまでもこれはまだ分からないのです。指名委員長の松田さんは諮問委員会の時にも「現在、たった1人エントリーされているのです。これから皆さん多くの方に出ていただきたい」と当たり障りのない話をしていましたので、「ウチのクラブから出るから頑張るぞ」と言ってしまいますと、どこで反発が出るか分かりませんのでご注意ください。

そういうことで、私は、中身は良かったのではないかと思います。

荒井会長も、山崎さんのお話も非常に語り口が丁寧で、基本的には会員増強、ロータリーの発展を中心に話されましたけども、山崎代理は「ロータリーには変えていいものと、変えたらだめなもの、絶対に変えられないものがあるのだ。近年、特に昔は良かったというようなことを言いますが、ロータリーの根幹は何も変わっていない。ロータリーの哲学も変わっていないのだ。ただ、時代とともに変革していかなければならない」と話されました。そして、「特に注意しなければならないのは、今のクラブは最高だ、この雰囲気を残したいとやっているとクラブは発展しないのだ」と言っていました。

「異質な人を入れてしまうと、か、行儀の悪い人を入れてしまうとクラブの品格が保てないのではないのか。だから、クラブは厳選して人を集めなければならない。審査をちゃんとしなければならない、というのは間違いないだ。『来るもの拒まない』くらいの精神でやって、クラブを変えていかなければならない。現状に100パーセント満足していると衰退の始まりだ」と言っていました。

「新入会員の方についても、出席の少ない方についてもできるだけフォローしなければならない」、「プログラムの充実が重要だ」、そして「新しい会員の人は、入ることによって何が得られるのか、たぶん期待して来ているのだから、そこに応えなければならない。これはクラブの責任だ」と話されました。

最後に、山崎さんの話ではなくて、会員増強セミナーがありました。現在の2500地区の会員数は2300人くらいですが、2040年に会員は1600人くらいにな

るのではないかと。65パーセントくらいになるのです。すると、ウチのクラブは100人から65人くらいになってしまうのです。これは、努力をすれば100パーセント維持できることも十分考えられますし、ウチのクラブならできると思います。やはり、「クラブの改革をいつでも考えないとだめだ」と話しておりました。大変勉強になったいい話だと思いました。

私は、大会が終わるまでの点数で98点を付けられるくらいで、ロータリーに特化した大会でした。これはR Iの方針そのとおりだったのです。でも、残念なのは、私だけが感じたのかもしれませんが、懇親会の会場が入れ替え制ですからコタゴタしたのもあったのですが、1000人に近い会食はやっぱりホテルがやらないとできないと思います。そこが、リハーサルを含めて足りなかったのではないかと思います。皆さんは、いかが感じましたかね。少し残念でした。その意味から50点くらいかなと思いました。これは私の個人的な感想です。

釧路クラブの内輪の話では、3年後には大会をやります。ぜひ荒井さんを男にする、釧路クラブの意気込みを見せるために、みんなで考えたいと思います。荒井さんは、これから自分の年度を始めることについていろいろな人事を行いますけれど、みんなで協力して頑張っていければと思います。

地区大会は参加すると面白いものです。来年は旭川、再来年は帯広、そして次は釧路であります。時間の許す方はぜひ参加していただければ。そこで、思わぬ人との出会い、その時のガバナーの考え方を含めて、またR I 会長代理でどのような人が来るか、いろいろ勉強になると思います。ぜひ、参加していただきますように。

今年は40人くらいが参加しました。せめて半分以上が参加できればいいと思いますけれど、皆さんは忙しい中でのことでしょうかというのがないのですが、私としてはそのような感じをしました。

いい大会だったことは間違いないのですが、なにか少し残念に思うところが残っていました。以上です。ありがとうございました。

荒井 剛会長



私からも地区大会に参加しての報告をさせていただきます。このあと、何人かが地区大会に参加しての報告をしていただきますので、私

は主に初日の話をさせていただきます。

初日は、R I 会長代理・会長・幹事懇談会がありましたので、それに参加しました。二日目の地区大会当

日にもお話をしていただいた山崎淳一会長代理には初日にも話をしていただきました。

初日の話は、私のロータリー観、ロータリーそのものの。どうしてロータリーに入ったのか、ロータリーをとおしていかなる人からどんなことを教わってきたのか。山崎さんの著書をいただきました。全員には配られていないと思いますが、会長・幹事、クラブに1冊ずつだと思いますが、ざあーっと目を通しました。その中で、何人かからの言葉が自分に響いたというのが載っていました。

R I 会長だった方とのエピソードとして山崎さんがお話しされたのは、小船井バストガバナーがガバナーの時のR I 会長、タイのビチャイ・ラタクルさんからの話を聞いて、すごい感銘を受けて自分のロータリー観が深まってきたと話されました。

最終的に、ロータリーとは何ぞや、これはいろいろな方がいろいろな意見を持って、いろいろな答えがあると思いますが、山崎R I 会長代理の答えは、「ロータリーとは何ぞや、と聞かれると、最終的には奉仕と親睦の積み重ねである」でした。その答えに導くために、いろいろな方、恩師からの話を、エピソードを受けていろいろ話をされました。その中のひとつとして、ビチャイさんの話が出てきました。

もうひとつ、山崎さんの言っていた言葉で、私が思ったのは「過去と他人は変えることはできない」、これはよく言われる言葉ですが、それを聞いてそうだなーと思いました。変えられるのは自分が変わる。将来に関しても自分が変わることで、このようにしたいということで変わることができる。他人は変えられないし、過去も変えられないから前を向いて行こうと、私はその言葉を聞いて改めて思いました。自分が変わる、自分が挑戦する、それでしか自分の将来は築けないと改めて思いました。

そういう思いで、私にとって今回の話はロータリーのことだけではなくて、自分の生き方にも関わることだと思って聞いてまいりました。

そのあとに、米山梅吉記念館の活動紹介がありました。静岡にあるのですが、その理事長に釧路まで来ていただいて、米山梅吉記念館の活動と施設の紹介をされました。これは珍しいと思ったのです。なんと、北ロータリークラブの方々が事前に静岡の記念館に行って挨拶をされて、ぜひ来てくださいとなって、今回、来ていただいております。

その中では、米山記念館の財政的に云々の話もあったのですが、そこで使われているものの話です。米山梅吉さんは亡くなられていますけども、昔の写真を使ってA I でアニメにして本人の声でしゃべっているような動画が流されました。

それを見て、この二日間で私自身も自分の写真を使って、A I でしゃべるようなものを作りたいかったの

ですが、間に合わなかったので今年度中にどこかでチャレンジしたいと思います。いつか、ここでお披露目できればと思っています。

最後に、初日の釧路ナイトの話です。タイから来られたお客様のアテンドもありましたので、釧路ナイトの冒頭だけお邪魔してご挨拶させていただいて晩餐会に戻りました。そのあと、タイの方とお話をして、タイから来られた今のガバナー、昨年のガバナー、カンチャナブリ地区にあるクラブの会長さんの3名が来られたので、この3名と横田幹事と一緒に釧路ナイトの二次会でレラさんに連れて行きました。その3人はすごく喜んでいただきまして、皆さんからも温かく声をかけていただいて交流が深まったと思いました。今のガバナーとは10年以上も仲良くさせてもらったので、彼からも「皆さんによろしくお伝えください」と話を受けています。

タイの方々はそのあと、旭川西さんと毎年のようにグローバル補助金をやっているの、バスで旭川西さんに向かって、昨日無事にタイに戻られたと聞いております。

ちなみに、レラでの二次会のあとに、私が彼らをホテルまで無事に届けたのですが、「セブンイレブンなどのコンビニはないのか」と言われて、連れて行ったら、たくさんビールを買ってホテルで飲んだという話がありました。

今年度中に当クラブでも、グローバル補助金の関係でタイと事業を行いたいと思っていますので、ご都合がつけば皆さまと一緒にタイに行きたいと思っています。

以上です。

渡部 哲大会員



皆さん、こんにちは。地区大会の活動報告をさせていただきます。

私は今年度の入会ということで、初めてロータリーの地区

大会を経験させていただきました。前日は、荒井会長からも話がありましてとおり、レラさんで釧路ナイトを開催しましたが、タイから3人のお客様が来られて、釧路ロータリーとして交流させていただきました。地区大会と聞いていたので、海外からお客様が来るとかの印象がないまま参加しましたが、そこに海外から来ているのを見て、改めてロータリーのネットワークとか人々と人の結びつきに強いきずながあるのだなと釧路ナイトで感じさせていただきました。

土曜日の本大会では、9時15分にみんなで集合写真を撮ったあとに式典に参加させていただきました。

国際交流センターの会場にあれだけの人が入るのだなというくらい多くの方が来ていて、ほんとにスケール感に圧倒されました。

諸先輩からは「1時半の『ヤー！』というのが大事な場面なのだ」ということでしたが、ヤーってなんのことなのか全然イメージが湧かないままその場面に参加させていただきました。各ロータリークラブさんそれぞれガッツポーズで「ヤー！」とやっている所もありましたし、手の平を挙げた形で「これが正式だ」というのもあったのですが、それぞれのロータリーさんで、それぞれの地域でいろいろな掛け声の出し方、ポーズのやり方があるようです。それぞれの特色が出ていて面白いと見させていただきました。

最後に、懇親会にも先輩方を含め多くの方が集まっていました。いろいろな大会があると思いますが、経済団体や業界の親睦会・大懇親会に参加すると、最初の乾杯の後にはどんどん人が抜けて、会場がガラガラになるような大会があると思いますが、ロータリーの地区大会は皆さんが最後まで会場に残っていて、ほんとに親睦を深めるためにいろいろな年齢の皆さんが集まって和気あいあいとしていたのが印象に残っております。

来年は旭川、次が帯広ということですので、さらに見分を深めるために来年も参加させていただきたいと思います。

私からの報告は以上です。ご清聴ありがとうございました。

佐々木俊和会員



皆さん、こんにちは。僭越ながらご報告させていただきます。

私は金曜日の釧路ナイトから参加させていただきました。

いつもの知ったメンバーと楽しいお酒を飲ませていただきました。

少しそれますが、10月が妻の誕生日で、ロータリーからコーヒーの詰め合わせをいただきました。コー

ヒー好きの妻からは、「しっかりお礼を言っておきなさいよ」ときつく言われておりますので、荒井会長にお礼を言います。そして、コーヒーの舟木さんにもお礼を言います。貴重な機会になったなと思っております。

土曜日は、朝から参加させていただきました。先ほどの渡部さんと同じで、「ヤー！が大事だ」というのは何のことか分からなかったのは同じなのですが、無事に「ヤー！」の発声に参加できました。

佐渡ガバナーをはじめ、いろいろな方が登壇されましたが、会場に1000人ほどがいて圧巻だなと思いました。それぞれの方が本業で代表・トップをやられる重要な立場であられながらも、その本業から離れて、時間を割いて、ロータリーを通じて奉仕をしていることは人数も圧巻ですし、それぞれの重鎮の方々が時間を割いているというのは少しずつではあるのですが世の中を良くしていく方向になることを実感して、ありがたいクラブに参加させていただいているなど実感したところです。

懇親会にも出させていただいて、それはそれで美味しいお酒を飲めましたが、私がこのロータリーに入会する時に推薦してくださった吉田パストガバナーの奥様に直接ご挨拶することもできました。その意味でも貴重な機会になったと思います。

以上で終わらせていただきます。ありがとうございました。

(点鐘)

本日のニコニコ献金

■荒井 剛君 地区大会参加ありがとうございました。当日ウィンドヒルスタジアムで行われた野球大会で娘がレフトオーバーのツーベースを打ってくれました。

今年度累計 101,000 円

